

## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月14日

上場会社名 株式会社エスクリ 上場取引所 東  
コード番号 2196 URL <http://www.escrit.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渋谷 守浩  
CEO  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉瀬 格 (TEL) 050-1743-3418  
CFO  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	26,639	10.4	929	340.7	837	84.9	619	268.7
2023年3月期	24,129	8.5	210	—	452	—	168	△64.8

(注) 包括利益 2024年3月期 635百万円(280.1%) 2023年3月期 167百万円(△63.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	23.67	—	10.2	3.6	3.5
2023年3月期	△4.21	—	2.9	1.9	0.9

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(注) 2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	23,199	6,241	26.9	228.89
2023年3月期	22,985	5,870	25.5	204.04

(参考) 自己資本 2024年3月期 6,241百万円 2023年3月期 5,868百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,221	△591	△915	4,960
2023年3月期	1,100	△502	△1,316	5,210

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,158	1.9	1,000	7.6	900	7.5	560	△9.6	19.24

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 一社（社名）、除外 1社（社名）ESCRIT HAWAII INC.

(注)連結子会社のESCRIT HAWAII INC.は、2023年6月14日付で清算終了したことに伴い連結の範囲から除外しております。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

- (3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	13,786,500株	2023年3月期	13,786,500株
2024年3月期	278,065株	2023年3月期	277,965株
2024年3月期	13,508,452株	2023年3月期	13,508,535株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

- (1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	22,153	4.3	625	30.7	474	△35.1	405	7.0
2023年3月期	21,233	14.0	478	—	708	—	379	△42.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	7.81	—
2023年3月期	11.40	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

- (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	19,538	5,741	29.4	191.86
2023年3月期	20,702	5,598	27.0	183.97

(参考) 自己資本 2024年3月期 5,741百万円 2023年3月期 5,597百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付P.3「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2024年5月14日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は、以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	37,500.00	—	37,500.00	75,000.00
2024年3月期	—	50,000.00	—	50,000.00	100,000.00
2025年3月期(予想)	—	50,000.00	—	50,000.00	100,000.00

(注) A種類株式は、2021年3月31日に発行したものです。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年4月1日～2024年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが2023年5月8日より5類へと移行されたことで経済活動の本格的な再開が加速した一方、円安の進行および世界的な資源・エネルギーの価格高騰や物価上昇、金融資本市場の変動等の影響により、景気は依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、ブライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を展開すべく、施設のスタイルにこだわらず、東京23区及び政令指定都市を中心とした利便性の高い場所で挙式・披露宴を運営する当社のほか、店舗・オフィスの設計施工、建築用コンテナの企画・販売・施工、建材・古材の販売など建築不動産に関するソリューションを提供し、またグループ内施設の内装工事を担う株式会社渋谷を主軸にグループ経営を推進する体制を強化し、連結業績の最大化に向け継続して取り組んでおります。

当連結会計年度の経営成績は、売上高26,639百万円(前期比10.4%増)、営業利益929百万円(前期比340.7%増)、経常利益837百万円(前期比84.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益619百万円(前期比268.7%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (ブライダル関連事業)

コロナ禍において新郎新婦のゲスト一人ひとりを大切にすべく志向が高まり、各アイテムのランクアップ提案を実施したことにより単価が増加したことに加え、宴会が好調に推移しました。広告宣伝費を積み増したことにより販管費は増加したものの前年同期比では増益となり、ブライダル関連事業の売上高は22,152百万円(前期比4.3%増)、セグメント利益は1,419百万円(前期比6.6%増)となりました。

#### (建築不動産関連事業)

工事の取扱いが増加したこと、大型の不動産販売があったことにより売上高が増加しました。新型コロナウイルス感染症の影響で増加していた工事原価が減少し、利益率が回復しました。結果、建築不動産関連事業の売上高は4,486百万円(前期比54.9%増)、セグメント利益は288百万円(前期は282百万円の損失)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産総額は23,199百万円となり、前連結会計年度より214百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が250百万円減少したこと、契約資産が733百万円増加したこと、建物及び構築物(純額)が698百万円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債総額は16,957百万円となり、前連結会計年度より157百万円減少しております。これは主に、短期借入金が4,211百万円減少したこと、長期借入金が2,730百万円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は6,241百万円となり、前連結会計年度より371百万円増加しております。これは主に、剰余金の配当262百万円を計上したこと、親会社株主に帰属する当期純利益619百万円を計上したこと等によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は4,960百万円となり、前連結会計年度より250百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,221百万円(前連結会計年度は1,100百万円の収入)となりました。その主な内

訳は税金等調整前当期純利益747百万円、減価償却費1,088百万円、リース投資資産の増加額579百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は591百万円(前連結会計年度は502百万円の支出)となりました。その主な内訳は有形固定資産の取得による支出336百万円、無形固定資産の取得による支出212百万円、敷金及び保証金の差入による支出75百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は915百万円(前連結会計年度は1,316百万円の支出)となりました。その主な内訳は短期借入金の純減額4,211百万円、長期借入れによる収入5,827百万円、長期借入金の返済による支出2,032百万円があったこと等によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

当社グループの事業を取り巻く環境は、コロナ禍から経済活動の正常化が進む一方、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響により不透明な状況が続くと予想されますが、グループとしての力を一層発揮するための体制、仕組み作りをすすめてまいります。

主力のプライダル関連事業において、引き続き施行単価の増加、宴会やフォトウエディングなどの結婚式以外のサービスが好調に推移することにより、増収を見込んでおります。また、愛知県名古屋市内に新規出店を行い、夏頃に稼働開始を予定しております。

以上により、次期の連結業績の見通しについては、売上高27,158百万円(前期比1.9%増)、営業利益1,000百万円(前期比7.6%増)、経常利益900百万円(前期比7.5%増)、親会社に帰属する当期純利益560百万円(前期比9.6%減)と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしておりますが、海外事業展開の進展状況の他、国内外の動向も踏まえながら、IFRS適用に関する検討をすすめてまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,406,693	5,156,234
受取手形	1,929	2,412
売掛金	151,020	176,214
完成工事未収入金	430,354	202,339
契約資産	62,216	796,203
販売用不動産	354,748	461,193
商品及び製品	323,323	311,337
原材料及び貯蔵品	58,247	55,542
未成工事支出金	109,005	167,316
リース投資資産	—	629,045
その他	828,939	609,436
貸倒引当金	△39,806	△29,449
流動資産合計	7,686,671	8,537,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,374,282	4,676,079
工具、器具及び備品（純額）	342,309	295,141
土地	671,169	554,866
リース資産（純額）	223,448	176,123
建設仮勘定	69,864	61,053
その他	16,112	9,623
有形固定資産合計	6,697,187	5,772,887
無形固定資産		
のれん	—	39,280
その他	97,375	285,979
無形固定資産合計	97,375	325,259
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,665,000	3,791,605
繰延税金資産	4,573,725	4,489,005
投資不動産	—	116,303
その他	308,705	211,984
貸倒引当金	△43,548	△45,121
投資その他の資産合計	8,503,883	8,563,777
固定資産合計	15,298,445	14,661,925
資産合計	22,985,116	23,199,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	928,096	704,706
短期借入金	4,854,000	642,120
1年内返済予定の長期借入金	1,135,841	2,200,357
未払金	740,583	984,215
前受金	26,971	36,000
未払法人税等	30,878	28,568
契約負債	1,448,991	1,737,767
資産除去債務	118,266	31,357
その他	1,567,131	1,603,279
流動負債合計	10,850,761	7,968,372
固定負債		
社債	150,000	90,000
長期借入金	3,303,573	6,034,539
リース債務	287,670	200,076
資産除去債務	2,355,753	2,425,820
その他	167,333	238,993
固定負債合計	6,264,330	8,989,430
負債合計	17,115,091	16,957,802
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	4,613,178	4,613,178
利益剰余金	1,426,965	1,784,272
自己株式	△192,505	△192,543
株主資本合計	5,897,638	6,254,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△920	2,550
為替換算調整勘定	△27,880	△15,509
その他の包括利益累計額合計	△28,800	△12,958
新株予約権	1,187	—
純資産合計	5,870,025	6,241,948
負債純資産合計	22,985,116	23,199,751



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	24,129,054	26,639,348
売上原価	10,217,024	11,601,992
売上総利益	13,912,030	15,037,356
販売費及び一般管理費	13,701,110	14,107,736
営業利益	210,920	929,620
営業外収益		
為替差益	14,574	622
受取保険金	3,317	17,694
助成金収入	218,194	66,243
雇用調整助成金	149,050	—
その他	18,749	13,481
営業外収益合計	403,886	98,041
営業外費用		
支払利息	76,781	79,597
支払手数料	7,661	23,680
金融手数料	73,019	74,440
その他	4,534	12,783
営業外費用合計	161,996	190,501
経常利益	452,810	837,160
特別利益		
固定資産売却益	—	859
新株予約権戻入益	784	1,187
特別利益合計	784	2,047
特別損失		
固定資産売却損	2,976	—
減損損失	140,985	73,375
関係会社株式評価損	75,102	—
為替換算調整勘定取崩損	—	18,676
特別損失合計	219,065	92,052
税金等調整前当期純利益	234,529	747,155
法人税、住民税及び事業税	32,378	29,796
法人税等調整額	34,056	97,552
法人税等合計	66,434	127,348
当期純利益	168,094	619,806
親会社株主に帰属する当期純利益	168,094	619,806

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	168,094	619,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,005	3,470
為替換算調整勘定	137	12,370
その他の包括利益合計	△868	15,841
包括利益	167,225	635,648
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	167,225	635,648

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	4,613,178	1,483,871	△192,505	5,954,544
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	50,000	4,613,178	1,483,871	△192,505	5,954,544
当期変動額					
剰余金の配当			△225,000		△225,000
親会社株主に帰属する当期純利益			168,094		168,094
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△56,905	—	△56,905
当期末残高	50,000	4,613,178	1,426,965	△192,505	5,897,638

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	85	△28,017	△27,932	1,971	5,928,583
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	85	△28,017	△27,932	1,971	5,928,583
当期変動額					
剰余金の配当					△225,000
親会社株主に帰属する当期純利益					168,094
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,005	137	△868	△784	△1,652
当期変動額合計	△1,005	137	△868	△784	△58,558
当期末残高	△920	△27,880	△28,800	1,187	5,870,025

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	4,613,178	1,426,965	△192,505	5,897,638
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	50,000	4,613,178	1,426,965	△192,505	5,897,638
当期変動額					
剰余金の配当			△262,500		△262,500
親会社株主に帰属する当期純利益			619,806		619,806
自己株式の取得				△38	△38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	357,306	△38	357,268
当期末残高	50,000	4,613,178	1,784,272	△192,543	6,254,907

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△920	△27,880	△28,800	1,187	5,870,025
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	△920	△27,880	△28,800	1,187	5,870,025
当期変動額					
剰余金の配当					△262,500
親会社株主に帰属する当期純利益					619,806
自己株式の取得					△38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,470	12,370	15,841	△1,187	14,654
当期変動額合計	3,470	12,370	15,841	△1,187	371,922
当期末残高	2,550	△15,509	△12,958	—	6,241,948

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	234,529	747,155
減価償却費	1,269,654	1,088,171
減損損失	140,985	73,375
為替換算調整勘定取崩損	—	18,676
有形固定資産売却損益(△は益)	2,976	△859
のれん償却額	—	14,637
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,327	△8,784
受取利息及び受取配当金	△916	△796
新株予約権戻入益	△784	△1,187
雇用調整助成金	△149,050	—
助成金収入	△218,194	△66,363
関係会社株式評価損	75,102	—
支払利息	76,781	79,597
支払手数料	7,661	23,680
金融手数料	73,019	74,440
売上債権の増減額(△は増加)	52,911	△533,221
棚卸資産の増減額(△は増加)	△35,960	△91,754
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	△75,985	△58,311
リース投資資産の増減額(△は増加)	—	△579,205
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,439	△29,861
前受金の増減額(△は減少)	22,787	9,029
契約負債の増減額(△は減少)	△157,735	288,776
未払金の増減額(△は減少)	26,469	228,285
その他	△445,926	△12,937
小計	805,212	1,262,543
利息及び配当金の受取額	912	793
利息の支払額	△76,420	△83,622
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△27,181	△32,226
雇用調整助成金の受取額	179,918	7,878
助成金の受取額	218,194	66,363
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,100,635	1,221,730
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	22,000	946
有形固定資産の取得による支出	△335,163	△336,518
資産除去債務の履行による支出	△103,625	△66,000
無形固定資産の取得による支出	△36,090	△192,877
事業譲受による支出	—	△73,215
敷金及び保証金の差入による支出	△175,890	△75,107
敷金及び保証金の回収による収入	114,269	73,304
その他	12,353	78,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502,145	△591,360

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△187,500	△4,211,880
長期借入れによる収入	800,000	5,827,523
長期借入金の返済による支出	△1,480,277	△2,032,041
社債の償還による支出	△60,000	△60,000
リース債務の返済による支出	△90,976	△88,121
配当金の支払額	△225,003	△262,500
その他	△73,019	△88,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,316,776	△915,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	13,123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△718,306	△271,590
現金及び現金同等物の期首残高	5,929,025	5,210,718
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	21,128
現金及び現金同等物の期末残高	5,210,718	4,960,256

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループのセグメントについては、事業の種類別に構成されており「ブライダル関連事業」及び「建築不動産関連事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ブライダル関連事業」は、直営施設及び提携施設を通じた挙式・披露宴の企画・運営等のブライダルサービス、ホテルスタイルの施設を通じた宿泊サービス、レストランスタイルの施設を通じたレストランサービス、各種パーティーの企画・運営の宴会サービスの提供等を行っております。

「建築不動産関連事業」は、飲食店や小売店を中心とした施設の内外装工事の請負及び設計監理業務、戸建住宅やマンションの建築、コンテナ事業、コンサルティングサービス等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結損益計 算書計上額 (注) 2
	ブライダル 関連	建築不動産 関連	計			
売上高						
外部顧客への売上高	21,233,196	2,895,858	24,129,054	24,129,054	—	24,129,054
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	53,840	53,840	53,840	△53,840	—
計	21,233,196	2,949,698	24,182,894	24,182,894	△53,840	24,129,054
セグメント利益又は 損失(△)	1,331,544	△282,224	1,049,320	1,049,320	△838,400	210,920
セグメント資産	14,715,107	3,748,300	18,463,407	18,463,407	4,521,709	22,985,116
その他の項目						
減価償却費	1,216,551	28,671	1,245,223	1,245,223	24,430	1,269,654
減損損失	140,985	—	140,985	140,985	—	140,985
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	286,646	2,403	289,050	289,050	46,097	335,147

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△838,400千円は、未実現利益の調整額16,389千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△854,790千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額4,521,709千円は、未実現利益の調整額11,249千円、各報告セグメントに配分していない全社資産4,510,460千円であり、該当全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
- (3) その他の項目の調整額のうち減価償却費の調整額24,430千円は未実現利益の調整額△16,389千円、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費40,820千円であり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額46,097千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。



当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	連結損益計 算書計上額 (注)2
	ブライダル 関連	建築不動産 関連	計			
売上高						
外部顧客への売上高	22,152,806	4,486,542	26,639,348	26,639,348	—	26,639,348
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	551	551	551	△551	—
計	22,152,806	4,487,093	26,639,899	26,639,899	△551	26,639,348
セグメント利益	1,419,493	288,878	1,708,371	1,708,371	△778,750	929,620
セグメント資産	14,183,423	5,147,167	19,330,591	19,330,591	3,869,010	23,199,601
その他の項目						
減価償却費	1,052,656	29,959	1,082,616	1,082,616	5,554	1,088,171
減損損失	73,375	—	73,375	73,375	—	73,375
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	137,010	26,698	163,708	163,708	264,181	427,889

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△778,750千円は、未実現利益の調整額16,048千円、のれん償却額△14,637千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△780,161千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,869,010千円は、未実現利益の調整額10,968千円、各報告セグメントに配分していない全社資産3,858,042千円であり、該当全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
- (3) その他の項目の調整額のうち減価償却費の調整額5,554千円は未実現利益の調整額△16,048千円、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費21,603千円であり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額264,181千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	204.04円	228.89円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△4.21円	23.67円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—円	—円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。また当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	168,094	619,806
普通株主に帰属しない金額(千円)	225,000	300,000
(うちA種種類株式に係る優先配当額(千円))	(225,000)	(300,000)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△56,905	319,806
普通株式の期中平均株式数(株)	13,508,535	13,508,452
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	A種種類株式 3,000株 第12回新株予約権 112個	A種種類株式 3,000株